

平成30年度「予算決定」のお知らせ

平成30年度予算案が、平成30年2月15日開催の第74回組合会において承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

- ◇ 一般勘定（健康保険）平成30年度予算規模 1,426,960,000 円
(内経常赤字予算額 90,502,000 円)
- ◇ 介護勘定（介護保険）平成30年度予算規模 145,498,000 円

■ 一般勘定

保険料率は平成30年度も全体の料率改定をしない予算編成をおこないました。余裕のある組合運営ではありませんが、一般保険料は料率90/1000と変更ありません。

一般勘定ですが、収入の部、総額は14億2,696万円といたしました。

内訳としては、健康保険料収入12億5,296万円、調整保険料収入1,861万円、国庫補助金収入75万円、高額医療交付金を443万円、雑収入21万円を見込んでいます。

また平成29年度決算の残余金を繰越金として1億5,000万円を新年度に繰り越し、収入といたしますが、別途積立金などを「取り崩して収入とする」繰り入れ等は「ゼロ」とする予算策定をいたしました。

これは皆さんの「医療費支出」が少なくなるなど、当年度の支出が抑制された結果来年度へ繰り越す余裕ができた点と、来年度の高齢者医療のための「納付金」が比較的小さくなる予想とされるためです。

支出予算につきましては、予算総額14億2,696万円のうち保険給付費50%、納付金が32%を占めています。

収入支出予算総額は昨年よりも減少させることができましたが、医療費支出に充てる予算は前年予算の104%としています。

また人間ドック、家族健診を中心とした「保健事業費」は当年度決算見込み額の20%増として、一層皆さんの健康維持、管理事業を進めます。

特に「KenCoM」の登録、利用については皆さんのご理解、ご対応をお願いしたいと考えています。

■ 介護勘定

介護勘定は当年度予算に対して、106.5%となる1億4,549万8千円の予算といたしました。

介護勘定は、今年度平成29年度予算にて保険料率を12/1000から14/1000にアップし、準備金繰入もおこないました。

平成30年度は料率変更をおこないませんが、介護保険の対象者数、また納付金の計算方法の変更（人数割りから一部総報酬割制へ）等の影響もあり、準備金を約100万円繰り入れて予算上の均衡をはかります。

平成30年度 予算概要

<<一般勘定>>

収入		支出	
科目	予算額(千円)	科目	予算額(千円)
保険料収入	1,252,956	事務費	49,416
調整保険料収入	18,608	保険給付費	714,278
繰越金	150,000	納付金	455,741
繰入金	0	保健事業費	123,313
国庫補助金収入	754	還付金	173
特定健診等事業収入	3	営繕費	100
財政調整事業交付金	4,430	財政調整事業拠出金	18,608
雑収入・他	209	連合会費	1,000
		積立金	300
		雑支出・他	202
		予備費	63,829
収入合計	1,426,960	支出合計	1,426,960
經常収入合計	1,253,917	經常支出合計	1,344,419

<<介護勘定>>

収入		支出	
科目	予算額(千円)	科目	予算額(千円)
保険料収入	135,787	介護納付金	143,898
繰越金	8,700	介護保険料還付金	100
繰入金	1,007	積立金	0
雑収入・他	4	予備費	1,500
収入合計	145,498	支出合計	145,498